

玉川議員、片山議員が聴く 酒まつりの 30周年とこれから

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今年で30周年を迎える、本市を代表するイベント、酒まつり。酒まつりの運営に中心に関わっておられる団体の代表者にインタビューし、酒まつりの歴史や、コロナ禍の中、今年の開催はどうなるのかなど、様々なことを伺いました。



酒まつりホームページQRコード→
<https://sakematsuri.com>

プロフィール



公益社団法人東広島市観光協会
会長 蔵田 憲さん



西条酒造協会
理事長 石井 英太郎さん



2020 酒まつり実行委員会
実行委員長 徳森 和芳さん

今年の酒まつりはオンラインで 皆さんとつながります

Q 本日は、「酒まつりの30周年とこれから」のテーマでお話を伺いたいと思います。

蔵田会長 酒まつりは、酒蔵が多く並ぶエリアを中心会場とし、全国からおいしいお酒を取り寄せてみなさんに飲んでいただきませす。経済波及効果も2019年の調

査では38億8千万円でした。

石井理事長 西条酒造組合(当時)が自分たちのできる範囲の予算で始めた「西条酒まつり」が、日本酒の日(10月1日)のある10月に開かれています。やがて、西条は酒という話になり、「みんなの祭り」が酒まつ

りに移行して今に至ります。

徳森実行委員長 酒まつりは、1年間を通してボランティアの皆さんと一体となつてつくり上げます。「みんなの祭り」のDNAは残っています。東広島の特産はお酒で、酒蔵があつての祭りだし、国酒・日本酒を広めたいと思います。

Q 酒まつりは30周年の節目。苦勞話などを改めて伺います。

蔵田会長 直近3年間は豪雨災害や台風、本年は新型コロナウイルスがあり、積立金も減つてお金の心配は尽きません。この30年は順調ではありませんでした。

石井理事長 今の酒まつりに関しては、酒造協会から400万円を支援していますが、嗜好の変化などで日本酒生産量がだんだん落ちていく中、酒まつりに出す費用は苦しい状態です。
徳森実行委員長 やはりお金が



②



③



①



④



⑤

- ① 取材風景
- ② 酒まつりの様子
- ③ 酒まつり当日の酒蔵通り
- ④⑤ KIZUNA 会場

気になります。昨年、一昨年は台風や豪雨に見舞われました。悪天候で、その一瞬で一年の苦労が水の泡になります。

Q 酒まつり30周年です。コロナの対策対応等もありますか？

蔵田会長 実行委員会で検討し、オンラインでの実施を協会理事会で承認しました。風評被害を防ぐためにも例年以上にPRしなければとも思っています。

石井理事長 やはり密になる要因はつくりたくないし、来年の開催を見据えたものにしたという思いです。

徳森実行委員長 2月から協議し、屋外イベントは中止にしました。今年はオンラインを中心に、酒蔵の紹介などの様々なコンテンツを作ります。ただ、オンライン酒ひろばにどう付加価値をつけるかなど課題は多くあります。

Q 市民の皆様には伝えたいこと、行政への要望などがありますか？

石井理事長 煙突のたくさんある酒蔵風景は、今は全国でも西条ぐらいです。酒まつりのとき

だけでなく、酒蔵巡りを楽しみに来てもらえたらと思います。

徳森実行委員長 酔っ払いの祭りだと言う方もまだおられますが、今は泥酔者も減り、みなさんが飲み方をわかまえ、ルールを守るいい祭りになっています。家族総出で楽しめます。「今年はない」で終わらず、オンラインでつながってください。

蔵田会長 市も酒まつりにお客さん呼び込もうとされているなら、観光振興条例をつくるべきではないでしょうか。観光協会で今の酒まつりを継続するのはとても大変です。

石井理事長 市が酒まつりをどんなふうと考えているのかが気になります。場所・範囲が狭くなっているようで、日本一大きな酒まつりをする用地などを考えてもらいたいと思います。

徳森実行委員長 市とは密な連携を取れる場、例えば市の若手職員と交流の機会を増やしていただき、一緒に未来の東広島をつくっていききたいです。